

## スズキ、「GSX-R」シリーズが発売30周年



MotoGP参戦マシン  
「GSX-RR 30周年記念カラー」



初代「GSX-R750」(左)と  
「GSX-R1000 30周年記念カラー」(右)

スズキ株式会社の二輪車を代表するスーパースポーツバイク「GSX-R」シリーズが、1985年の初代「GSX-R750」発売から2015年で30周年を迎えた。これを記念して、スズキのMotoGPチーム「チームスズキ エクスター」は、初代「GSX-R750」を模した青／白の「**30周年記念カラー**」で参戦する。記念カラーを施した参戦マシン「GSX-RR」は、第9戦ドイツGP<sup>※1</sup>および第10戦インディアナポリスGP<sup>※2</sup>（アメリカ）に出走する。

さらに、現行の「GSX-R」シリーズ「GSX-R600／750／1000」（海外向けモデル）にも「**30周年記念カラー**」として青／白および赤／黒の2種類のカラーグラフィックを採用し、タンク上に30周年デカールを装着して欧州・北米を中心とした海外向けに追加発売する。

「GSX-R」シリーズは、1985年の初代「GSX-R750」発売以来、レース活動で培われた最新技術をフィードバックした軽量・高出力な高性能スポーツバイクとして人気を博し、2012年には累計生産100万台<sup>※3</sup>を達成した。また、「GSX-R」シリーズをベースとしたレース車両は、世界耐久選手権、スーパーバイク世界選手権、鈴鹿8時間耐久レース、全日本ロードレース選手権など、数々のレースで栄光を勝ち取ってきた。

※1 決勝:7月12日(日)

※2 決勝:8月9日(日)

※3 GSX-R600／750／1000／1100の合計